

謹賀新年



鹽竈神社左右宮拝殿の木鼻彫刻

鹽竈十福

発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号
志波彦神社 社務所
電話 〇二二-3671-6111(代)
FAX 〇二二-3651-5530
<http://www.shiogamajinja.jp/>



神宮大麻は、明治五年より神宮司庁が奉製し全国の家庭に頒布されるようになった。その起源は、伊勢の御師による御祓大麻である。現在は、神社本庁が神宮司庁より委託を受け全国の神社を通じて頒布。当社でも毎年十二月二日に神宮大麻頒布出発式を行い、約二週間をかけて塩竈市約二万世帯全戸への頒布を目標に職員生徒総がかりで市内を歩いていく。年に一度、一軒一軒を訪ねて街を巡ると、車で通り過ぎるだけでは分からない様々な変化を感じることが出来る。ここ数年は、新築住宅が目につく。政府による住宅建設促進の成果でもあるようだが、訪ね歩く立場の身にとっては門戸が固く閉ざされているといった印象の建物ばかりが増えて来たように思う。広い縁側に布団や洗濯物が掛けられて来たとホッとす。建物の中の様子があがえると訪ねやすく感じるからだろう。住宅メーカーでも和風建築の魅力として縁側の存在をあげ、それが室内と屋外を繋げてくれる中間領域となるとしている。当然、縁側は室内にいる人と外からの人をも繋いでくれる。大麻頒布は、伊勢の神宮と家庭を繋ぐ大切に聖なる事業。北風に袖を取られながらも氏子地域を訪ね行き、日の当たる縁側で日の大神様の御札を渡す。「御苦労さんね」の言葉に励まされ、次の家へと向かうのである。



穏やかな一年を願ひ

志波彦神社 宮司 鍵 三夫

令和四年(皇紀二八六二年)新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。また、愛子内親王殿下におかれましては、昨年成人を迎えられましたこと、誠に慶賀の至りと存じ上げます。さて、一昨年よりの新型コロナウイルス感染症は、ワク

チンの接種や感染対策の徹底等もあって、昨年末には減少傾向が見え始めました。しかし、新たな変異株が発生するなど、依然として油断は出来ません。このような状況の中、神社では感染対策を徹底した上で、祭典へのご案内も少しずつではありますが、元に戻し

て齋行致しております。今後、状況を見ながら氏子祭の神輿渡御等、コロナ禍以前のよう到大勢の皆様へ御奉仕頂けることを願っております。初詣につきましては、感染防止対策をし、皆様の御参拝をお待ち致しております。また、博物館では新春特別

展として「伊達家歴代藩主奉納太刀」を開催致します。仙台藩四代藩主伊達綱村公より始まる、鹽竈様への奉納太刀三十五口を展示致します。領国の安寧と発展を願ひ奉納された太刀を目前にする時、我々もその思いを同じくすることが出来ると共に、鹽竈神社への伊達家の崇敬心を改めて感じて頂けることと存じます。感染症の一日も早い終息と、氏子崇敬者の弥益の御榮を祈念致し新春の辞と致します。



初春に寄せて

志波彦神社 鹽竈神社

総代・祭典委員会委員長 内形 繁夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては令和四年の初春を健やかに御迎えのことと心からお喜び申し上げます。

祭も、一昨年同様に規模を縮小しました。このような中、私は昨年の三月に志波彦神社鹽竈神社健宮司様から祭典委員長の重責を拝命いたしました。身に余る光栄と心からの感謝を思うとともに、御両社の大神様の更なるご神徳発揚に本委員会が担うべき役割を改めて考えます時、その任の重さに身が引き締まる思いであります。

断と行動力をもって、このコロナ禍での氏子三祭に対応されました。ここに重ねて、敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今年こそ、大神様には神輿に巡られ供揃えを従えて市内をご巡幸され、昔ながらの歴史絵巻を氏子の皆様に披露していただきたいと願っております。この二年、祭典の縮小により、各供奉組や行列を受け入れる御旅所では様々な問題がおきております。特に小

昨年、引き続き新型コロナウイルスの猛威から世界的規模での対応と自粛により、私達を取り巻く社会経済活動は急速な変革を余儀なくされ、日々の市民生活にも大きな影響を受けた年でもありました。また、三百有余年の伝統と歴史を誇る塩竈の氏子三

和田忠前委員長には、篤き敬神の念に裏打ちされたご判断

中学生の役割がある供奉組では、進級や卒業により次の子供たちへの引き継ぎができていないところもあります。やはり、お祭は継続して実施してこそ確実な継承となると実感しております。

この二月上旬までには、今年の帆手まつりの実施の有無について、神社御当局の御裁可を受けて参りたいと考えておりますが、昨年末までには各供奉組と御旅所の各町内会に対し、実施できますよう準備方についてお願いしておるところであります。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます
 令和四年 壬寅 元旦
 志波彦神社 鹽竈神社
 代表役員 宮司 鍵 三夫
 責任役員 阿部 勘九郎 佐浦 弘一 鈴木 雄一 渡部 邦彦 阿部 仁彦 野口 次郎 菅野 仁一郎 佐藤 仁一 和田 重信 志賀 暢大 水野 健史 鈴木 茂彦 桑原 直哉 志賀 直彦 津田 武彦 菅原 宏和 勝又 雄司 下山 儀憲 土井 儀憲 小泉 幸彌 阿部 善久 横田 善光 内形 繁夫



年頭のご挨拶

塩釜警察署 署長 湯原和彦

新年あけましておめでと
ございます。皆様には輝かし
い新春を迎えられましたこと
と心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は警察行政各
般にわたり深いご理解とご支
援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年三月、塩釜警察署勤務
の内示を受けた際、前任者か
らは、志波彦神社・鹽竈神社
において執り行われる神事や
祭礼に参列させていただく機
会がある旨の引き継ぎを受

け、古来奥州一宮として朝野
の崇敬を集めてきた神社の歴
史と文化の一端に触れられる
喜びを感じ厳かな気持ちで着
任いたしました。

しかしながら、コロナ禍の
影響により志波彦神社例祭や
花まつり本殿祭への参列が叶
わなかったことから、四月の
天候に恵まれた日、一人鹽竈
神社に参拝し、薄紅色の鹽竈
桜をはじめ境内に咲き誇る約
四十品種の桜を愛でながら、
この地に勤務できる喜びと崇
高な使命感を感じて、地域の

安全安心をご祈願するととも
に管内の治安維持に誠心誠意
取り組むことを心に誓ったも
のです。

さて、昨年の治安情勢を振
り返りますと、コロナ禍で開
催された東京オリムピック・
サッカー競技大会警備を完
遂したほか、「フュースト映画」
を全国初の著作権法違反で検
挙し、さらには、殺人、強盗
致傷など住民の安全を脅かす
犯罪の発生もありましたが、
地域の皆様のご協力もあり被
疑者を検挙することができま

した。
一方で、交通死亡事故が多
発して尊い命が失われたほか
か、特殊詐欺による被害も後
予断を許さないところであり
ます。

本年も、塩釜警察署が地域
住民の皆様にとつて安全安心
の拠り所となるよう、署員
一丸となつて治安維持に取り
組んで参りますので引き続き
ご支援、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

結びに、現在の「コロナ禍」
が早期に終息し、これまで通
り各種神事が執り行われるこ
とと、さらには、皆様方のご
健勝・ご多幸を祈念申し上げ、
年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

塩竈市文化財保護審議会 会長 高橋守克

新年明けましておめでと
ございます。皆様には清々し
い新年を迎えられましたこと
とお慶び申し上げます。

塩竈市内には、悠久の時を
超えて塩竈と関わりつてきた
人々の残した足跡が、貴重な
文化財として今日に伝えられ
ています。その主なものをあ
げますと、国特別名勝の松島、
国重要文化財の鹽竈神社、同

伊達綱村奉納の太刀、国天然
記念物の鹽竈神社の鹽竈ザク
ラ、国名勝の奥の細道風景地・
籬が島、県無形民俗文化財の
藻塩焼神事などがあります。

鹽竈神社を取り上げます。
も、境内には奉納された鳥居
や灯籠・日時計、神社博物館
には工芸品・絵画・書籍など
があります。「温故知新」と
いう言葉がありますが、鹽竈

神社への崇敬とともにその一
つ一つの奉納品に託した人々
の願いや思いを感じ取ること
も大切なことではないかと思
われます。

これらの文化財のほかに
も、塩竈の名称の由来となつ
た製塩に関わる遺跡、古代か
ら入江を埋め立てて築かれて
きた塩竈の街並み、そして仙
台藩の外港として繁栄と衰退

の時期を物語る各種の建築物
や絵画・文書、漁業や酒造
業、石材業などの産業関連資
料、地域の信仰の対象となつ
た神社仏閣や石碑などもあり
ます。これらの中には、個人
や民間所有として人知れず埋
もれて存在する貴重な文化財
も数多くあると思われま
す。今後、塩竈市文化財保護審
議会として、このような文化
財の掘り起こしを通して、塩
竈の歴史の解明と保存に努
め、後世に伝えていきたいと
考えています。皆様のご理解
とご協力をお願い申し上げます。

氏子崇敬会

会長

副会長

祭典委員会

委員長

副委員長

敬神婦人講

講長

副講長

氏子青年会

会長

副会長

節分祭年男女世話人会

会長

副会長

鹽竈神社博物館審議委員会

審議委員

桑原暢大

水野良明

佐藤文雄

安部宏和

菅原利男

内形善夫

齋藤繁彌

香取善彌

志賀重信

菅原宏和

鈴木善

今野良美

野々紀美子

佐々良子

宇仁良子

戸羽宏美

沼倉安志

永倉史人

小沢史人

鈴木史人

戸羽宏美

第七十四回奉献乾海苔品評会

審査会

一月六日(木)

午前十時

宮城県漁業協同組合

塩釜総合支所

感謝祭

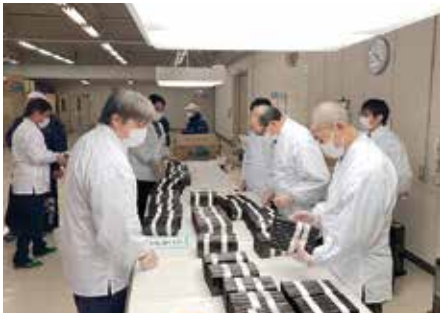
一月十一日(火)

午前十一時

鹽竈神社左右宮

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉献乾海苔品評会」が開催されます。

審査会は、前年同様に新型コロナウイルス感染症防止の為、会場を宮城県漁業協同組



合塩釜総合支所において、一月六日(木)午前十時に実施します。

十帖一束約三三〇g以上の乾海苔を一点として色・艶・手触りなど審査員の厳正な審査を経て、優賞・準優賞以下受賞者を決定します。



十一日(火)午前十一時より関係者参列のもと奉献感謝祭が斎行されます。

当日は、出品された乾海苔を祭務所に展示いたします。御参拝の際には、宮城県産の日本有数の上質な乾海苔を、豊かな香りとともに御覧ください。

節分祭

恒例の「しおがまさまの豆撒き」節分祭。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、大勢の参加者のもと特設舞台からの豆撒きは、前年同様に実施しないこととなりました。

世話人が代表して参列し、神符・福餅・福豆等を受け皆様にお頒ちすることと致します。

厄年を迎えられた年男・年女は勿論の事、年齢にかかわらず厄災消除、家内安全を御祈願致します。

参加費は一万二千元(祈禱料、記念品、その他一切の費用を含む)です。

お申し込みは以下の世話人へお願い致します。

節分祭年男女世話人会

〈市外局番〇二三〉

・会長 佐藤 武志

南町 株菅原園茶舗 (三六二)〇〇二八

・副会長 佐藤 一臣

南町 漢方の塩竈芍薬堂 (三六二)七八八〇

・郷家 照夫

南町 郷家第三歯科医院 (三六二)四五七一

・松本 喜八郎

旭町 株松本左官工業 (三六二)三三七五

・佐藤 仁一郎

南町 株ごんきや (三六七)七七七七

・菅原 周二

桜ヶ丘 株白寿殿 (三六六)四一四一

・桜井 ふみ子

清水沢

〇九〇(五八四三)二七二七

・鈴木 壹彦

権現堂

〇九〇(二〇六九)二〇七〇

・大友 義雄

桜ヶ丘 株白寿殿 (三六六)四一四一

・大場 喜藏

南錦町 大場酒店 (三六七)〇九〇六

・高瀬 聰

尾島町 旬たかせ美容室 (三六六)六四二〇

・古内 隆弘

港町 プリンス食品株 (三六五)六一八一

・古川 浩司

貞山通 株カネヒロ (三六六)一一六一

祭典御供役会 創立五十周年奉告祭

昨年十一月二十八日、祭典御供役会創立五十周年奉告祭が斎行されました。

御供役会は神社の祭典を奉賛し、塩竈市の股賑発展に寄与することを目的に結成されました。

昭和四十六年に金華山黄金山神社より頒賜の鹿革二頭分を以て制作した金幣束のほか、奉安台・御羽車・神旗錦旗・太鼓を奉納し、以来帆手祭・花祭、みなと祭の氏子三祭に奉仕しています。

鈴木清会長以下会員が参列し、祭典後、宮司より祝意状が贈呈されました。



講社だより

例年十月のスポーツの日を含めた三連休に齎行して... 講社大祭は、新型コロナウィルス感染拡大防止の為、昨年同様に祈禱形式での齎行となりました。

十月八日より十四日までの期間中には、世話人や講員がそれぞれ参拝し、家内安全や商売繁盛を祈念してまいりました。

左記に永年の継続講員の御芳名を御紹介いたします。(敬称略)

令和三年度

継続講員表彰者

◇九十年表彰

菅野 春枝・佐久間きえ子 橋本 輝男・多田 龍吉 佐藤 孝・加藤 孝夫

◇八十年表彰

菊池 浩

◇七十年表彰

板宮 伸一・板宮 功 鈴木 日出男・曾我 いわ子 吉木 由美

(有サイトスタジオ)

◇六十年表彰

宮田 和之・日野 ユウ子 中村 裕・菊池 徳郎 市川 永光・阿部 泰城 金子 たか子・金子 はるの 大槌支部(二名)

倉本 福哉・北田 恭市 岩出山講(一名) 佐々木 明光

◇五十年表彰

畑中 静・佐藤 忠浩 菊池 健一・菊池 久夫 福原 一弘・遠藤 清志 大槌支部(一名) 倉本 豊

◇四十年表彰

相澤 文子・高橋 克彰 長田 孝介・戸田 克義 阿部 喜代子・遠藤 幸雄 栗生 貴史 大槌支部(三名) 岩崎 洋司 浜欠 芳男・斉藤 静子

◇三十年表彰

秋山 かわえ・鈴木 幸雄 菅原 俊一・遠藤 なみ子 佐伯 晴夫・本間 正明 佐藤沢 修 絹子 佐藤沢 祥一 明日香 佐藤沢 豊 優子 優樹 大槌支部(三名) 山崎善石工門・大砂賀 誠一 川村 俊一郎

◇二十年表彰

田島 好人・阿部 三郎 菊池 キワ子・佐藤 友子 佐藤 秋雄・佐藤 長七 鈴木 正彦・相沢 和代 石田 貢・石橋 温子 大澤 節子・加藤 可良 加藤 ひとみ・加藤 可識 加藤 瑞基・後藤 浩一

佐々木 幹夫・柴田 隆光 鈴木 貴博・高橋 ヨシ子 大槌支部(一名) 田中 悦子 岩出山講(一名) 中鉢 忠

◇十年表彰

村上 豊・丹野 幸夫 阿部 雅彦・石田 善昭 早坂 哲也・村主 志郎 鈴木 源志・阿部 貞子 柿本 淳子・柿本 辰也 柿本 曜輝・佐々木 孝 高橋 佑太・高橋 真弓 畑中 邦彦・本田 恭子 井上 耕治 井上帆布工業(株) 神崎 雅宏 (株)神文ストア 代表取締役社長 大槌支部(十名) 佐々木 健児・芳賀 藤一 赤崎 幾哉・川口 泰宏 澤山 重夫・小向 幹雄 三浦 文子・藤村 敬一 佐々木 哲雄・小国 忠義 岩出山講(一名) 飯田 とき子

結婚 おめでとう ご報告いたします (敬称略)

九月 名取市 引地 裕樹 遠田郡 阿部 ユキ

仙台市 小坂 門都 秋田県 松橋 夏風

山形県 阿部 泰大 山形県 長谷川 綾

仙台市 北口 千晴 仙台市 小野 梨子

富谷市 今津 拓美 名取市 斎藤 亜希

仙台市 金野 史裕 塩竈市 佐々木 法子

塩竈市 齋藤 雄一 栃木県 荒井 菜摘

十月 仙台市 一条 慎也 石巻市 菅原 瑠美

塩竈市 中野 裕夫 本吉郡 佐々木 香

福島県 鈴木 拓弥 仙台市 柿野 利菜

栗原市 熊谷 英己 加美郡 渡辺 絵里奈

静岡県 土屋 雄司 塩竈市 千葉 由美子

登米市 沼倉 大介 山形県 佐々木 菜摘

登米市 小野寺 元氣 渡部 真理

黒川郡 紀野國 祐太 仙台市 熊谷 円花

十一月 宮城郡 加藤 隼人 仙台市 鈴木 千賀

多賀城市 三浦 隆大 福島県 木元 彩乃

多賀城市 齋藤 壮一郎 青森県 中嶋 月

東松島市 車塚 勇希 牡鹿郡 佐藤 あかり

塩竈市 佐々木 誠 石巻市 亀山 香澄

神奈川県 伊東 優一 宮城郡 菅原 愛理

栃木県 石川 岬樹 茨城県 上田 愛美

加美郡 土田 基裕 塩竈市 高橋 巴

大崎市 佐藤 雄太 亶理郡 加藤 由恵

石巻市 水沼 龍司 石巻市 山内 睦

岩手県 坂部 達也 宮城郡 設楽 美紗子

仙台市 横山 裕崇 仙台市 岩泉 若菜

